

平成20年度 有田町内の国際交流の動き

- 4月**
 - 平成20年度ドイツ語講座開講 (講師: 8代目国際交流員 フローリアン・アクスト氏)
 - 韓国唯一の陶磁器専門学校「韓国陶芸高校」(韓国利川市)の教諭と生徒59人が有田工業高校を訪問。絵付けなどを体験し、親睦を深めた。
- 5月**
 - ポーセリンパークでスコットランド「バグパイプバンド」演奏会開催。鑑賞した有田2年生と写真撮影や会話による交流を楽しむ(2日) **写真①**
 - 陶祖祭参列のため(社)韓国陶磁文化協会関係者が来有(4日: 韓国陶磁文化協会会長金基衡氏他)
 - 有田町陸上競技協会が韓国水安温泉マラソン大会へ参加のため訪韓(5月24日~26日: 有田町陸上競技協会11名)
- 6月**
 - 韓国麗水市サンボン初等学校5・6年生32人が有田中部小学校を訪れ、児童の家庭にホームステイをして交流を深める。(11日~12日)
- 7月**
 - 陶都有田国際交流協会理事会(3日)
 - 陶都有田国際交流協会総会(8日)
 - 韓国下湍中学校2年生42人が有田中学校を訪れ、日本の学習内容などを見学した。(25日)
 - フローリアン・アクスト前国際交流員が有田ケーブルネットワークの取材を受け、2年間の有田での思い出を語った。(28日、放送8月4日~)
 - 在クウェート大使館の武藤特命大使が町内を視察される。(31日)
- 8月**
 - 日独スポーツ少年交流事業に参加したドイツ・ミュンヘン市の高校生8人と指導者1人が有田を訪れ、町内の家庭にホームステイをして交流を深める。滞在期間中、有田工業高校バレー部との親善試合や、ろくろや絵付けの体験などを楽しんだ。(2日~6日) **写真②**
 - 9代目の国際交流員エンゲル・エルンスト・忠氏が有田町に着任する。(7日)
- 9月**
 - 平成20年度ドイツ語講座講師引継ぎ (講師: 9代目国際交流員 エンゲル・エルンスト・忠氏)
 - 青年海外協働隊(日本語教師)でタイへ2年間派遣される深海素子さん(泉山)が町長を表敬訪問した。(17日)
- 10月**
 - ドイツのハレ芸術大学と有田窯業大学の交換留学制度でドイツ人のミリアム・リッカートさんが来有。(1日) 2009年3月14日まで
 - 有田秋まつりで姉妹都市PRコーナー(マイセン)をオープン(26日)



① ポーセリンパークにてスコットランドの「バグパイプバンド」と有田2年生



② ドイツ・ミュンヘン市の高校生と有田工業高校バレー部との親善試合

●ハロウィン実行委員会は、有田秋まつりの会場で小学生以下の子供たちを対象にハロウィンパーティーを開催。(26日)

- 11月**
 - マイセン市との姉妹都市交流30周年のイベントとして、秋の有田陶磁器まつりの期間にあわせ、有田館で「マイセン・ドイツワインの器展」(パネル及びワイン関連の有田焼の商品を展示)を開催。(1日~26日)
 - 元気再生事業通年観光体制整備で2人の韓国人調査員を雇用して「韓国人観光客の動向調査」を実施。有田を訪れた韓国人約150人を調査した。(1日~12月8日まで) **※次ページに結果掲載**
 - 有田ロータリークラブが国際交流員による講演会を開催。(4日)
 - 国際交流員のガイドで外国人などへ有田を紹介する「秋の有田陶磁器まつり英語ツアー」を開催。(22日: 県内外に住む外国人など18人) **写真③**
- 12月**
 - 元気再生事業通年観光体制整備で雇用している韓国人を講師に招き、町内窯元や商店関係者等を対象に「韓国文化・韓国語教室」を開催。(3日~5日: 述べ37人参加) **写真④**
 - 国際交流員が町立保育園3園のクリスマス会にサンタクロースに扮して参加する。(17~19日)
 - 西有田日韓交流クラブ「融和」が韓国の大学生(11人)のホームステイ受け入れを実施。参加者は日本の正月を体験。(28日~1月5日) **写真⑤**
- 1月**
 - 西有田ライオンズクラブが西有田中学校(3年生対象)で国際交流員による国際シンポジウムを開催し、有田町とマイセン市との交流やドイツ文化や食などを紹介する。(9日)
 - 陶都有田国際交流協会臨時理事会(29日)
- 2月**
 - 有田町マイセン市姉妹都市30周年締結記念日に陶都有田国際交流協会臨時総会を開き、今後、マイセン30周年交流事業実行委員会を立ち上げ、事業を進めていくことを確認する。(9日) **※締結日1979年(昭和54年)2月9日**
- 3月**
 - 国際交流員のガイドで外国人などに有田を紹介する「有田雛のやきものまつり英語ツアー」を開催。(7日: 県内外に住む外国人など29人)
 - ドイツのハレ芸術大学と有田窯業大学の交換留学制度でドイツ人のミユルマン・ヘンリエッテさんとメビウス・ミーラさんが来有。(24日) 9日まで
 - 今年で18回目を迎えたマイセン青少年友好親善ホームステイ派遣事業。マイセンより青少年11人、引率者2人が有田を訪問した。(25日~4月4日)



③ 秋の有田陶磁器まつり英語ツアーで県内外に住む外国人などに有田を紹介



④ 韓国人を講師に招いての韓国文化・韓国語教室



⑤ ホームステイで日本の正月を体験した韓国の大学生たち【写真提供: 岩永典克(黒川)】

マイセン青少年友好親善交流事業(有田・マイセン友好協会)



★泉山磁石場での記念写真

18回目となる今年も、3月25日から4月4日までマイセン市から青少年11名、引率2名が有田を訪れ、絵付け体験や町内観光を堪能しました。また期間中は、同世代の子供がいる家にホームステイし、楽しく貴重な時間を過ごしました。



★真剣なまなざしで絵付け中



★茶道体験

国際交流員の活動

2008年8月から役場企画商工観光課で働いている9代目国際交流員エンゲル・エルンスト・忠さんです。



ドイツのハンブルグ出身です。有田町が姉妹都市を結んでいるマイセン市など外国との交流におけるドイツ語や英語の文章の翻訳や、訪問者の通訳などを行なっています。

広報ありたにコラム掲載(毎月)
ドイツをもっと知ってもらうために、ドイツの文化や習慣を紹介しています。

英会話教室(月1~2回)

●秋の有田陶磁器まつり 英語ツアーガイド(11月)
●有田雛のやきものまつり 英語ツアーガイド(3月)
●マイセン青少年友好親善交流事業(3月)

ドイツ学教室(月3回)
ドイツ語だけでなく、もっとドイツを知ってもらうために開催しています。

事業の円滑な推進のため、連絡調整や通訳をしました。

講演会出演
町内の中学生や町民の方に、ドイツの文化や食などについて紹介しました。



★西有田中学校3年生(当時)対象に、国際シンポジウムを開催。

交流の絆

2009年6月
発行：陶都有田国際交流協会
(事務局) 有田町企画商工観光課

E-MAIL kikaku@town.arita.lg.jp ホームページアドレス <http://www.town.arita.lg.jp/kokusai/>

韓国 観光客の動向調査

内容と結果

2011年12月に
札幌市周辺で聞き取り調査

I

あなたのことについて

① 居住地 ソウル市 …45人 京畿道 ……19人 大邱市 ……12人 昌原市 ……10人 釜山 ……8人 ほかには 仁川市、蔚山市など8地区	② 性別 男 …63人 女 …70人	③ 年齢 20代以下…14人 30代 ……29人 40代 ……26人 50代 ……26人 60代 ……25人 70代以上 …9人	④ 職業 会社員 ……45人 無職 ……44人 自営業 ……30人 教師 ……7人 ほか公務員、農業など
---	---------------------------------	---	--

II

今回の有田への来訪について

- ① 有田町のことを知っていましたか**
知っていた ……63人
知らなかった ……66人
無回答 ……1人
- ② 有田町の情報をどこから知りましたか**
旅行会社のパンフレット …41人
家族・親類から ……18人
雑誌・テレビ等 ……17人
インターネット ……17人
職場 ……5人
仕事 ……2人
その他 ……11人
- ③ 今回の旅行(来日)の目的はなんですか**
観光(個人) ……51人
観光(会社等の団体) ……43人
観光(ツアー) ……13人
仕事 ……8人
その他 ……8人
- ④ 今回の旅行で最も楽しみにしている訪問場所はどこですか**
有田 ……26人
ハウステンボス ……18人
温泉関係 ……15人
ほかには
長崎、日本の旅館、焼き物、熊本城など
- ⑤ 今回の旅行で、日本に滞在する日数**
4日 ……50人
5日 ……31人
3日 ……26人
最長7日 ……1人
※3~5日間
滞在者割合は
全体の約9割



★アンケート実施風景

III

有田町が今後、韓国からの観光客を増やしていくために、何が重要だと思いますか。

- 韓国での宣伝活動 ……66人
- 韓国語のパンフレットや
案内サインの充実 ……35人
- 通りの店の人が韓国語を
覚えてくれること ……23人

- その他の意見
- ★ 韓国の焼き物を理解しようとする
 - ★ タクシーの運転手などが簡単な韓国語の
会話ができればいい
 - ★ 300~1000円程度のおみやげがほしい
 - ★ 旅行商品の開発
 - ★ 商品価格の値下げ など

陶都有田国際交流協会

〒849-4192 佐賀県西松浦郡有田町立部乙2202番地
(有田町役場企画商工観光課内)
Tel (0955-46-2111) Fax (0955-46-2100)
E-MAIL kikaku@town.arita.lg.jp
ホームページアドレス
<http://www.town.arita.lg.jp/kokusai/>

陶都有田国際交流協会とは

設立 平成元年6月に設立。国際親善に関心を持つ町内事業所や団体、学識経験者などで構成。
目的 有田町と外国都市との産業、文化、教育等の国際交流事業を促進し、国際的な相互理解による友好親善に寄与することを目的とする。
活動 町民への国際交流の趣旨の普及や、各種親善事業の実施などを通して「国際都市ありた」を目指して活動しています。

有田 マイセン 姉妹都市交流30周年

～ 実行委員会を設立しました ～

姉妹都市提携日
1979.2.9

2009年2月9日をもって、マイセン市との姉妹都市交流調印から30周年を迎えました。陶都有田国際交流協会では、今後の記念事業を円滑かつ充実したものとするため、「有田マイセン姉妹都市交流30周年記念事業実行委員会」を設立し、2009年4月16日に設立総会を開催いたしました。

委員の構成は、陶都有田国際交流協会の会員から17名と交流事業参加者代表3名の計20名で組織しています。(交流事業参加者は、6月5日(金)に参加希望者説明会をおこない、6月中旬に決定します。) 実行委員会では、9月のマイセン市へ有田町訪問団の派遣や11月のマイセン市訪問団受け入れなどの詳細事項を協議していきます。

マイセン市での記念事業(案)

- ◆有田から訪問団の派遣
 - ①マイセンワイン祭りのパレード参加やステージ出演
 - ②日本や有田文化の紹介
 - ③有田焼(ろくろ、絵付け)の実演 など
- ◆マイセン磁器製作所での有田焼の展示

有田町での記念事業(案)

- ◆マイセン市訪問団の受け入れ
 - ①記念交流会
 - ②マイセンスタンドの出展
 - ③「友好記念ぶどう園」の開所
およびぶどう苗の記念植樹



★書道の実演 (有田カルチャーホール)

★血踊り隊のワイン祭りパレード参加

★オープニングセレモニーで太鼓の公演

★有田屋台での日本酒の振る舞い風景

(写真はマイセン交流25周年記念事業より)